

行い、定着を図っている。

- ・インプット活動からアウトプット活動に至る過程の、活動段階の工夫に力を入れている。本文の穴あきプリントやインプット活動の応用など、生徒が自分で少し変えたり、考えたりする必要がある活動の充実を図っている。
- ・各学年、年間3度のスペリングコンテストを行っている。第1回から第3回にかけて徐々にテスト範囲を広げていき、同じ語彙を繰り返し指導している。
- ・間違えることを恐れて発言を躊躇しないよう、相手に伝えたいという気持ちや、伝えようとする態度を重視している。間違えながら覚えていくことが重要だと繰り返し伝えている。

3 成果と課題

○分析結果を踏まえた、これからの実践に向けての課題

書く力をさらに伸ばしていくために、語彙力に注目したい。自分が使える語彙が少なければ、書く力は大幅に制限され、タスクに対するストレスも大きくなってしまう。語彙を増やすための言語活動をより充実させていくだけでなく、単語のグルーピングや、推測方法など、ストラテジー指導にも力を入れていきたい。

生徒が英語で表現できる実践的な運用能力を養えるよう、引き続き言語の使用場面や言語の働きを一層広げた言語活動を実践していきたい。